

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回吉川市水道運営委員会
開 催 日 時	令和2年7月30日(木) 午後2時00分から 午後3時05分まで
開 催 場 所	吉川市役所301会議室
出席委員(者)氏名	森田 京子 会長 齊藤 幸男 副会長 飯嶋 啓之 委員、 豊田 宇助 委員 中島 のり子 委員 遠藤 義法 委員 岡田 和也 委員
欠席委員(者)氏名	飯塚 貴利 委員 京谷 恵子 委員 宇野 二郎 委員
担当課職員職氏名	水道課長兼技術管理者 秋谷 裕司、 課長補佐兼施設係長 小島 誠治 庶務係長 大滝 利和 庶務係 鈴木 麻紀子 主任、石井 史織 主事
会議次第と会議の 公開又は非公開の 別	<b>【次第】</b> 1. 開 会 2. 委嘱書の交付 3. 会長あいさつ 4. 市長あいさつ 5. 議 事 (1) 令和元年度吉川市水道事業会計決算(案)について (2) 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号) (案)について (3) 水道料金の減免について (4) その他 6. 閉 会 <b>【公開・非公開】</b> 公開
非公開の理由 (会議を非公開に した場合)	
傍 聴 者 の 数	1名
会 議 資 料 の 名 称	1. 令和元年度吉川市水道事業会計決算(案) 2. 令和元年度吉川市水道事業会計決算(案)の概要について 3. 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算(第1号)(案) 4. 水道料金の減免について 5. スマートフォン決済について 6. 吉川市の井戸について

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録確認指定者	齊藤 幸男 副会長、遠藤 義法 委員
その他の必要事項	
審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
事務局	1. 開会
	2. 委嘱書の交付 市長から遠藤 義法 委員（議会選出委員）へ委嘱書を手渡す。 遠藤委員より挨拶。
森田会長	3. 会長あいさつ 委員の皆様からの忌憚のないご意見をいただき、審議を進めていきたいと思 います。最後までどうぞよろしくお願い申し上げます。
市長	4. 市長あいさつ 水道事業は、命をつなぐ大事な事業である。経費を削減しながら市民の命をつ なぐ水道事業を運営していきたい。これからは、皆様のお力で策定した水道ビジ ョンに則って、議論をお願いしたい。今回は、明日の臨時議会の案件である水道 料金の減免について、また、費用、安全性を考えながら、県水と井戸水の今後の 方向性を、水道事業の未来の形を、回を重ねて皆さんと共に考えていきたい。 委員の皆様には、しっかりとご審議いただきたくお願い申し上げます。
森田会長	5. 議事 本日の会議録の署名委員を齊藤副会長、遠藤委員にお願いする。 齊藤副会長、遠藤委員の2名了承。
事務局	(1) 令和元年度吉川市水道事業会計決算（案）について 「令和元年度吉川市水道事業会計決算（案）」、資料1「令和元年度吉川市 水道事業会計決算（案）の概要について」を用いて説明。
森田会長	ありがとうございました。それでは、ただ今の説明について、質問がありまし たらお願いします。
	<b>【意見・質疑等】</b>

遠藤委員	<p>石綿管が残っていることにより、地震の際や日常的に漏水の原因となっている。当初は、H21年度から2億円の起債で、10年くらいで布設替が終わると言っていたが、石綿管は27kmくらい残っていると思われる。水道ビジョンの中で更新計画を見直しとなっているが、どのような議論をして、どのような計画をどのように見直したのか。</p>
事務局	<p>石綿管は現在25kmくらい残っている。水道施設も建物が20年を超えている。アセットマネジメントで計算し、今後50年でどのくらい費用がかかるのか水道ビジョンに載せているが、あくまで年間の水道事業量を記載しているのみである。今年度、石綿管の他にも老朽化した配水管、施設も含めて実施計画を再度作成している。実施計画を作成するにあたり、水道ビジョンに載せた年間金額の中で、どの事業から進めていくのが水道の安全な供給につながるのか整理をしている。今後、水道運営委員会でもお示ししながら事業を進めていきたい。</p>
岡田委員	<p>総配水量が前年度に比べて若干落ちているが、有収率が3～4%上昇しているので、漏水等無駄になった無効水量がだいぶ改善されている。努力が決算に反映されている。また、一人一日平均給水量は、H30年度埼玉県平均は314ℓとなっていて、吉川市は267ℓ。一人あたりの量が少ないのは、工場等大口が少ないといえるが、そういう状況であっても利益を確保しているので、健全な経営をしているといえると思う。それと、減価償却費は若干伸びている。施設や管の更新を進めていくと減価償却費が増えていくので注意が必要だが、もう少し伸びてもいいのではないかと思われる。</p>
事務局	<p>食品メーカーの工場移転に伴い、給水量が減った。しかし今後、美南のイオンタウンの給水量が増える予定であるため、水量の経過を見ていきたい。また、漏水修繕費が減少した理由として、石綿管の布設替に伴って管の耐震化を進めると同時に、宅内への引き込みである給水管を同時に施工している。このことが、有収率の上昇へとつながっていると思われる。減価償却費については、施設や石綿管の更新が進むにつれ増加していくので、計画を立てて整備をしていきたい。</p>
岡田委員	<p>有収率は、東部地域をみると、吉川市、草加市、八潮市は、ほぼ同じである。越谷・松伏水道企業団は96%と高くなっている。吉川市もいろいろな取り組みをしているので、上がっていくものと思われる。</p>
森田会長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。他に意見がないようなので、次の議題に移ります。</p>
事務局	<p>(2) 令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案）について (3) 水道料金の減免について</p>

	「令和2年度吉川市水道事業会計補正予算（第1号）（案）」、資料2「水道料金の減免について」を用いて説明。
森田会長	ありがとうございました。それでは、ただ今の説明について、質問がありましたらお願いします。
	<b>【意見・質疑等】</b>
遠藤委員	3, 300万円の補助金だが、これは対象要件全てに係るものか。
事務局	一つでも要件に該当すれば対象となる。
遠藤委員	他の自治体では、一律基本料金を減免するところもあるが。
事務局	基本料金の減免となると、およそ3万世帯で、1億2,000万円かかる。
森田会長	国から給付金が出るのか。
事務局	国から臨時交付金をいただき、水道課からの持ち出しはない。
森田会長	他に意見がないようなので、次の議題に移ります。
事務局	(4) その他 資料3「スマートフォン決済について」、資料4「吉川市の井戸について」を用いて説明。
森田会長	ありがとうございました。それでは、ただ今の説明について、質問がありましたらお願いします。
	<b>【意見・質疑等】</b>
市長	近隣で、井戸水を混ぜて配水している団体はあるのか。
岡田委員	近隣では、県水の割合は9割くらいの団体が多い。さいたま市や越谷・松伏水道企業団も9割くらい。吉見町は10割。
事務局	分かりやすいのは、浄水場か配水場かである。浄水場は県水と井戸水を混ぜている。配水場は、ほとんど県水のみである。越谷・松伏企業団も全部が井戸水を混ぜているのではなく、浄水場も配水場もある。
岡田委員	東武線沿線は、井戸水を地下250mくらいから採取していて、水質は良くな

	<p>い。県北部、県西部は、地下10mとか浅い所から採取していて、河川の伏流水としているところもあり状況は違う。深い所から採取している井戸水が今後きれいになるのは難しい。</p>
市長	<p>費用対効果について、今後議論していきたい。</p>
遠藤委員	<p>こんなに井戸水の水質が良くないとは思わなかった。ここ2年くらい県水の割合が高くなってきたのはなぜかと思っていた。このことが、末端に行くにつれ、残留塩素が下がってくる要因なのですね。</p>
事務局	<p>そうです。残留塩素が一番下がるのが、北は上内川、南は三輪野江です。残留塩素が下がれば、水を循環させる必要があるため、捨て水が多くなる。</p>
岡田委員	<p>逆に最初に塩素を入れすぎると、浄水場に近い地域の塩素が濃くなってしまふ。</p>
事務局	<p>末端の方の塩素濃度が下がると、細菌が増えやすくなる原因となり、飲み水として適さなくなってしまうため、末端の方の塩素濃度に気を付ける必要がある。</p>
森田会長	<p>井戸水をやめて、県水のみにしたらどうかと思うが、そうすると災害のときに困るのですね。</p>
事務局	<p>災害時のときのこととも考え、今後、費用対効果をお示しする中で、もし県水のみとなっても、井戸を何本か残し、井戸水を飲み水としてではなく、生活用水として活用するという選択もある。現在、井戸4本のうち、2本が浄水場内にあるため、その2本を残すという方法もある。今後議論していきたい。</p>
岡田委員	<p>さいたま市は、100本くらい井戸を持っている。県水の割合は9割くらいなので、災害時のために、かなりの本数の井戸を持っている。</p>
遠藤委員	<p>新三郷浄水場からくる水と、庄和浄水場からくる水とでは品質が違う。新三郷浄水場のように、他の浄水場も変わっていくのか。</p>
事務局	<p>新三郷浄水場のように、他の浄水場も高度浄水処理を進めていく予定がある。南配水場は、全て新三郷浄水場からの水である。駅南地区は、全て南配水場からで、三輪野江地区は、会野谷浄水場からと南配水場からと混ざる地域もある。混ざると塩素濃度が下がるため、塩素濃度に気を付けながら運転している。</p>
森田会長	<p>他にご質問等ないようですので、本日の議題を終了します。慎重なるご審議、</p>

<p>事務局</p> <p>齊藤副会長</p>	<p>ご協力ありがとうございました。</p> <p>6. 閉会        今回の会議を最後に、委員を退任される方の挨拶。        森田 京子 会長    齊藤 幸男 副会長    飯嶋 啓之 委員</p> <p>ありがとうございました。それでは、閉会の言葉を齊藤副会長よりお願いします。</p> <p>今日は、大変活発な意見が出され、会議が行われました。新しく委員となられた遠藤委員さん、今後もよろしく願いいたします。</p> <p>以上で終了。散会。</p>
<p>以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 2年 9月 4日</p> <p>署名委員    齊藤 幸男（自署）                      署名委員    遠藤 義法（自署）</p>	